

# 今後の活動とスケジュール



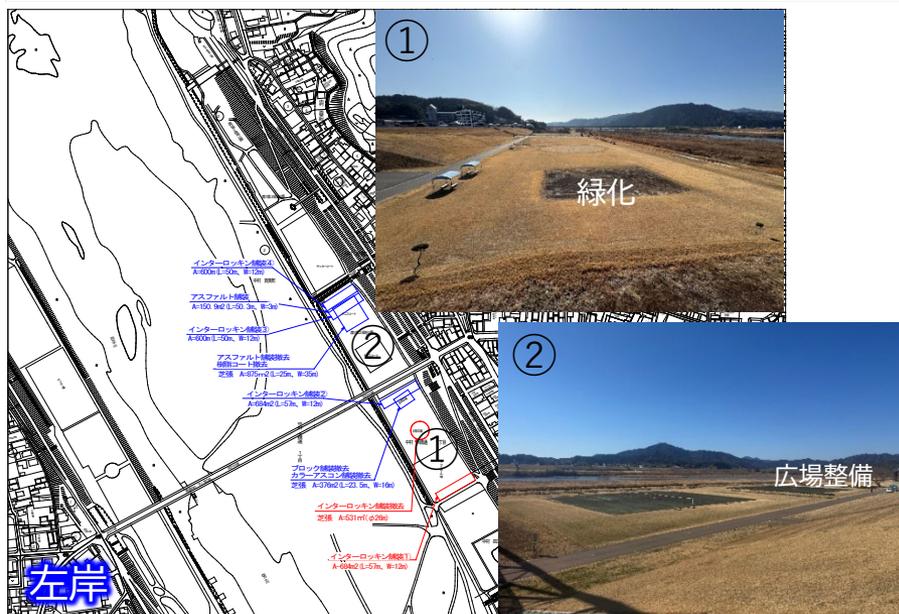




# 1 ハード施策の今後の予定について

種別	事業者	整備内容	R7	R8	R9	R10	R11
水辺整備	中村河川 国道事務所	管理用通路					
		工事中の車両回転場 (常設トイレ設置用の盛土)					
		親水護岸					
施設整備	四万十市	常設トイレ (堤防裏、近隣公園)					
		案内板、ベンチ等休憩施設					
		駐車場、テニス・バスケコート整備					
		キャンプ場の水場					

— : 計画策定時  
— : 実績(赤文字含む)  
— : 予定(青文字含む)  
 点線は設計  
 ※予算配分により変更の可能性有



# かわまちづくり推進にあたって

**つかいやすい場所**

(河川空間のオープン化)

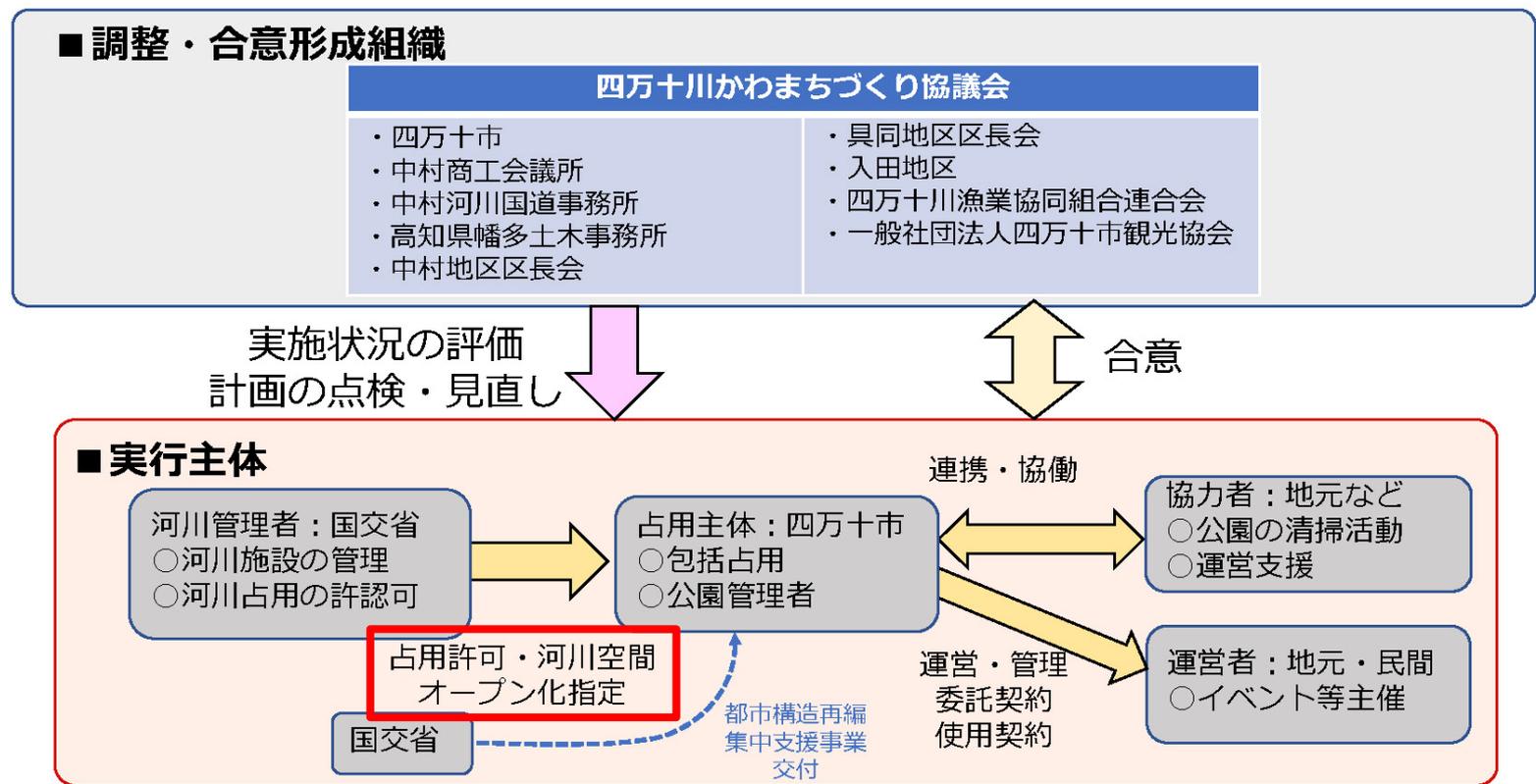
**わかりやすい取り組み**

(情報発信)

とするために

# ①つかいやすい場所とするために(「河川空間のオープン化」) 四万十川かわまちづくり計画の推進体制の確認

- 令和7年9月開催の第4回推進WGで協議した「河川空間のオープン化」については、令和6年8月に登録された「四万十川かわまちづくり計画」の中にも記載があります(下図)。
- 全国のかわまちづくり実施箇所では「オープン化」して、原則として**営業活動ができない河川敷地で営業活動ができる**ようにしています。



※第3回四万十川かわまちづくり協議会で合意した「資料2 かわまちづくり計画申請様式 四万十川かわまちづくり計画(案)」より引用

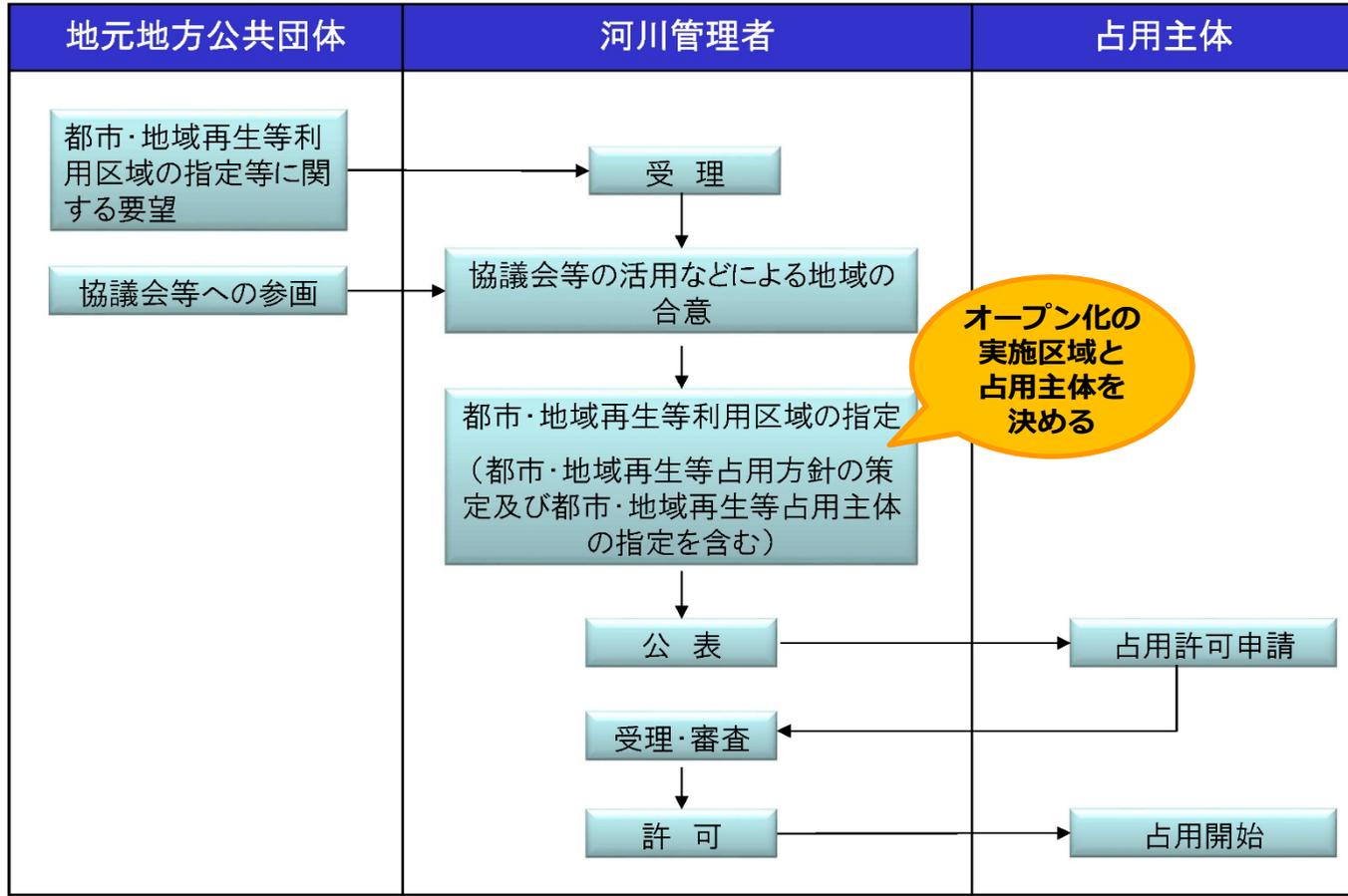
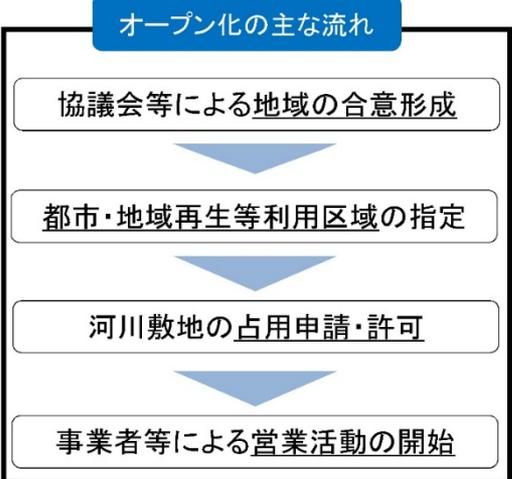
# ①つかいやすい場所とするために(「河川空間のオープン化」) 「河川空間のオープン化」手続きの流れ

●「オープン化」に向けた手続きには、下記のように「都市・地域再生等利用区域の指定等に関する要望」、「地域の合意」、「都市・地域再生等利用区域の指定」が必要です。

(推進WGで紹介)  
 資料2-2にも掲載

→ (もっと詳しく)

## オープン化の手続きの流れ



※「第5回資源としての河川利用の高度化に関する検討会」(平成28年1月21日開催)の「資料2 河川空間のオープン化について」より引用



# ①つかいやすい場所とするために(「河川空間のオープン化」)

## 「オープン化」する場合に考えられる3つの占用主体

### ①市

- ・市が占用し、市が市民と施設使用手続き、もしくは、民間事業者(指定管理)に委託
- ・市が主体に施設の運営・管理を検討・実施
- ・県への占用料※が免除になる可能性がある

### ②市を含む協議体

- ・市を含む協議体が占用する
- ・市民・民間事業者と検討・連携して、管理運営に取り組む
- ・県への占用料※が免除になる可能性がある

### ③民間事業者・協議体

- ・右岸かわまちづくり整備箇所(市の占用区域を除く)を民間事業者や協議体が直接占用する
- ・管理・運営への市の関与なし
- ・民間事業者等が県へ占用料※を払う必要がある可能性がある

河川管理者・国

占用許可

占用主体  
四万十市

使用許可

使用契約

民間事業者・  
指定管理者

使用許可

占用許可

占用主体  
市を含む協議体

使用許可

使用契約

民間事業者

使用許可

占用許可

占用主体  
民間事業者・協議体

使用許可

施設使用者

例：国→市→施設使用者  
 国→市→民間事業者→施設使用者  
 国→市→指定管理者→施設使用者

例：国→市を含む協議体→施設使用者

例：国→民間事業者→施設使用者  
 国→協議体→施設使用者

# ① つかいやすい場所とするために(「河川空間のオープン化」) 「流水占用料等」について

## ● 河川法第32条(流水占用料等の徴収等)

都道府県知事は、都道府県の区域内に存する河川について第23条から第25条までの許可を受けた者から、流水占用料、土地占用料又は土石採取料その他の河川産出物採取料(以下「流水占用料等」という。)を徴収することができる。

### 占用料の帰属

流水占用料等が当該都道府県の財政上比較的大きな地位を占めるに至っていたという事実に対する配慮から、国交省管理区間内の占用料であっても、その河川が流れている都道府県に帰属するものとされた。

### 占用料の額

土地賃貸料は需要と供給の関係等によって左右され全国的にまちまちであり、その額を統一することはかえって実情にそぐわない点もあることから、具体的な額については都道府県の条例で定められている。

※営業活動が可能な「オープン化区域」内の占用料徴収(額・減免)についても各都道府県により異なる。

◇ バーベキュー広場



◇ 船舶係留施設



◇ オープンカフェ



高知県河川流水占用料等徴収条例  
H11.12.27  
条例第51号

※「第3回 資源としての河川利用の高度化に関する検討会」(平成27年2月12日開催)の「資料2-1 河川空間の占用料について」より引用



# ①つかいやすい場所とするために(「河川空間のオープン化」)

## 『河川空間のオープン化活用事例集』より 事例①市が占有しているケース

### 63. 静岡県伊豆の国市 (一級河川 狩野川)

区域名称	狩野川「伊豆の国市神島地区周辺」(仮) ※名称はR5の供用開始に向けて、今後募集を行う予定。
概要	市内を流れる狩野川沿いに芝生広場や多目的広場を整備をすることで、市民や来訪者が集い、憩うことのできる親水空間の創出を図ります。また、民間事業者にも参画を促し、河川敷内に自転車オフロードコースを整備する他、川を活かしたアウトドアスポーツや自然体験活動ができる魅力ある水辺空間を創出し、地域の活性化を図ります。
河川管理者	中部地方整備局長
水系名・河川名	1級・狩野川水系・狩野川
指定範囲	伊豆の国市神島地区周辺
指定日	R2.3.13
占有主体	伊豆の国市長
占有施設	芝生広場、多目的広場、水辺広場、自転車オフロードコース等
合意方法	伊豆の国市狩野川活用調整協議会
許可期間	準備中
関連URL	中部地方整備局HP <a href="https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/rivoukuiki/index.htm">https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/rivoukuiki/index.htm</a> 伊豆の国市HP <a href="https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/tosikei/kawamachi.html">https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/tosikei/kawamachi.html</a>

### 位置



：都市・地域再生等利用区域の範囲

### 水辺の様子



整備後のイメージ



伊豆の国シクロクロス Supported by 湘南CX

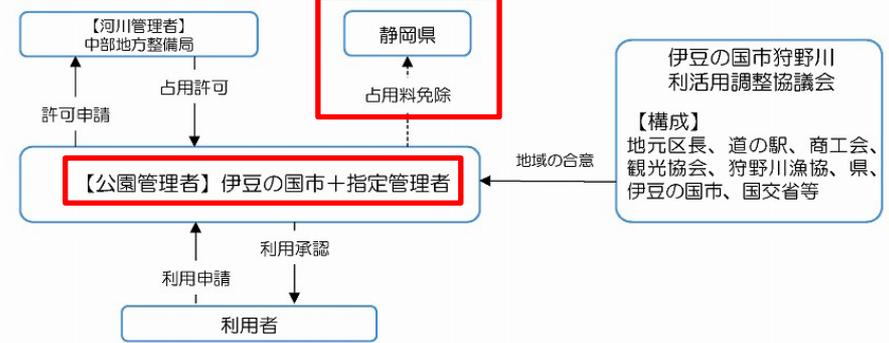


ディスクドッグ競技会



狩野川ラフト

### 事業スキーム



### 効果と今後の展開

- 伊豆地域での東京オリンピック自転車競技開催を契機としたサイクルツーリズムの推進を引き続き図るとともに、幅広い世代の方がサイクリススポーツを体験できるフィールドとしてオフロードコースを整備
- Park-PFI(公募設置管理制度)を導入し、民間資金を活用して公園の整備、管理運営を行うことで、公園の魅力向上を図る



# ①つかいやすい場所とするために(「河川空間のオープン化」) 『河川空間のオープン化活用事例集』より 事例②協議会が占有しているケース

## 59. 静岡県沼津市 (一級河川 狩野川)

区域名称	かのがわ風のテラス
概要	沼津市の中心市街地を流れる狩野川の魅力と、そのすばらしいロケーションを活かしたお洒落な空間を演出し、水辺空間で雰囲気を楽しんだり、緩やかな時間を過ごしたりできるようにすることにより、にぎわいと憩いの場を創出する。
河川管理者	中部地方整備局長
水系名・河川名	1級・狩野川水系・狩野川
指定範囲	右岸：あゆみ橋～御成橋、左岸：三園橋下流～永代橋上流
指定日	H26.2.26 (指定)、R3.3.25 (変更)
占有主体	沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会
占有施設	(水辺のオープンカフェ等) 広場、広場と一体をなすオープンカフェ、売店等 (水辺のステージ等) イベント施設、イベント施設と一体をなす照明・音響施設等
合意方法	沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会
許可期間	10年
関連URL	中部地方整備局HP <a href="https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/rivoukuiki/index.htm">https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/rivoukuiki/index.htm</a> かのがわ風のテラスHP <a href="http://www.kanogawa.fun-numazu.info/">http://www.kanogawa.fun-numazu.info/</a>

### 位置



### 都市・地域再生等利用区域



### 水辺の様子

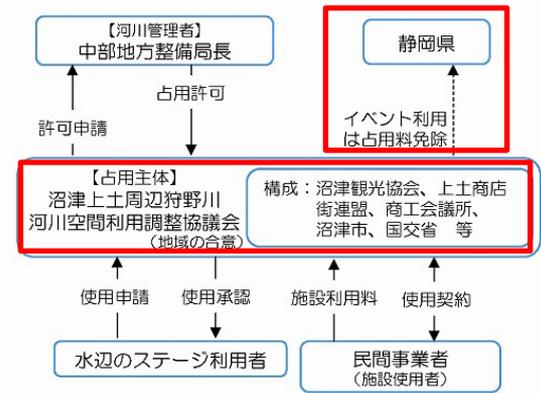


かのがわ風のテラス

7月7日 水辺で乾杯

ナイトマーケット

### 事業スキーム



### 利用者数

	利用件数	利用者数 (人)
H29年度	371	53,643
H30年度	330	54,785
R1年度	301	30,319
R2年度	177	3,345
R3年度	182	5,804

### 効果と今後の展開

- ・コロナ前は、時季に応じマーケットイベント・ステージイベント等が各種実施され、来客数も順次増加し、また、「水辺のバーベキュー」の利用者も大幅に増加し、夏休み期間はほぼ毎日利用される状況であった。
- ・にぎわいの場創設という「かのがわ風のテラス」の取組が平成26年度全建賞を受賞、平成28年度には利用調整協議会の一員である沼津あげつち商店街が狩野川での活動を評価され、経済産業省の「はばたく商店街30選2016」に選定、また、平成29年度には、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組が認められ、国土交通省の「手づくり郷土賞一般部門グランプリ2017」を受賞した。
- ・今後は、より安定的な利用を図るため、イベント利用時以外の活性化の検討など、引き続き取組を行っていく予定。
- ・令和3年3月から指定区域を変更。あゆみ橋で結ばれた2つの公園(沼津中央公園(右岸側)・香貴公園(左岸側))を中心に、左右岸に広がるエリアを連携させたイベント等を実施し、人の流れを生みだし、狩野川あゆみ橋を中心とした街中の回遊性の向上をはかる。

# ①つかいやすい場所とするために(「河川空間のオープン化」)

## 『河川空間のオープン化活用事例集』より 事例③民間が占有しているケース

### 95. 岡山県岡山市 (一級河川 旭川)

区域名称	旭川岡山京橋クルーズ
概要	川から海へとつながる歴史的資源を活用して、岡山と瀬戸内海の新たな魅力創出を図るとともに、京橋地区の活性化を目的とする。また瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて瀬戸内海の島々間を運航することで観光促進につなげるものである。
河川管理者	中国地方整備局長
水系名・河川名	1級・旭川水系・旭川
指定範囲	岡山市北区京橋町地先
指定日	R3.2.15
占用主体	(株)岡山京橋クルーズ
占用施設	船着場
合意方法	旭川かわまちづくり計画検討・推進会議
許可期間	10年
関連URL	中国地方整備局HP <a href="http://www.cgr.mlit.go.jp/cginfo/syokai/busyo/kasen/kasen-riyou/online-sinsei.htm">http://www.cgr.mlit.go.jp/cginfo/syokai/busyo/kasen/kasen-riyou/online-sinsei.htm</a>

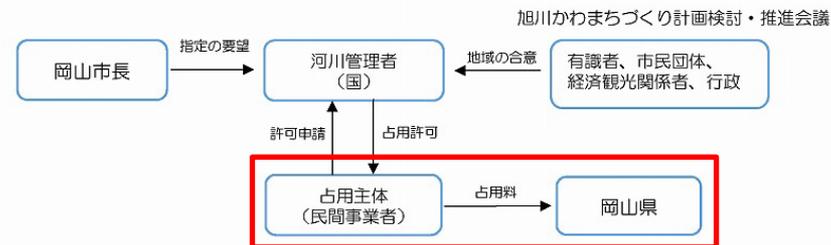
水辺の様子



### 位置



### 事業スキーム



### 効果と今後の展開

- ・チャーター便の運航のほかに、瀬戸内国際芸術祭2022の開催期間中は土日祝日のみ定期運航を行っている。
- ・複数の島を経由することでクルーズの利便性・魅力の向上を図るとともに、発着地点である岡山市内の地域活性化へ寄与することが期待される。



# ①つかいやすい場所とするために（第4回推進WGで提案した取り組み案①）

## 「しまんと水辺で乾杯！」 既往イベントのバージョンアップでかわにまちの人(市民)を呼び込む



R6



R7

## MIZBERING 「水辺で乾杯」

官民一体の協働プロジェクトの一環で行われている、毎年7月7日(川の日)に身近な水辺に集まり乾杯する全国的なイベント。四万十川でも例年乾杯を実施。実施方法は、会費制で事前に飲み物を準備する方法がメイン。R6は飲食店等のブースから購入制、R7は会費制で飲み物とおつまみビュッフェを実施。

行政の企画運営だと制約が多い

今のところ国交省と四万十市の職員、その家族や友達を中心

バージョンアップして



## 「水辺で乾杯」をかわまちづくりイベントにするとか…

<例えば>

- ・不特定多数が参加できるようにする
    - 出店協力してくれるお店に声がけをし、購入制にする。(R6ベース)
    - 事務局で準備しチケット制(数量限定)にする。(R7ベース)
  - ・事前登録制
    - 事務局で準備。(R7ベース)
- ※雨天時の対応は要検討

イベントにこだわらず

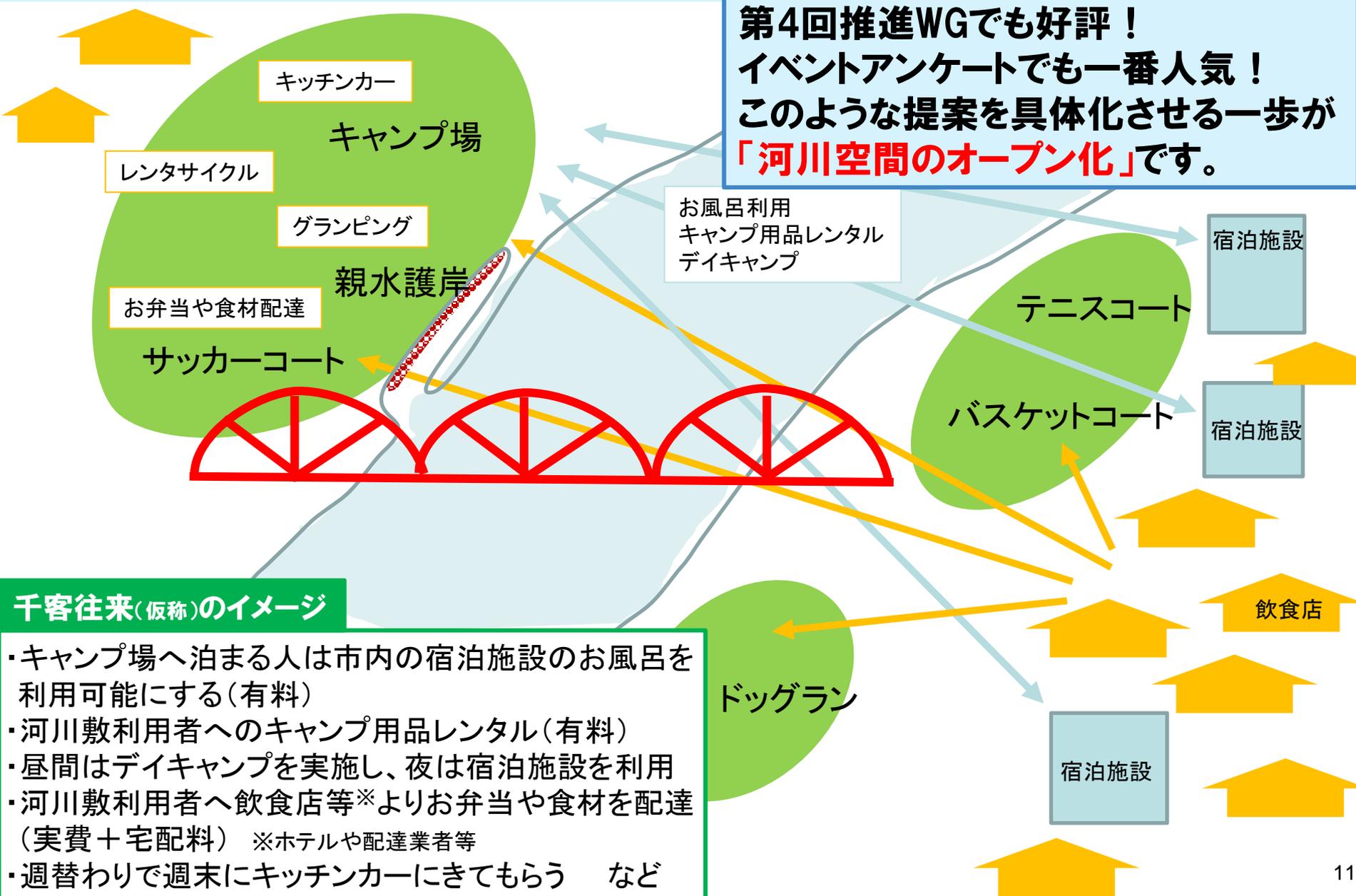
個人のお店が開催することも可能にするとか…



# ①つかいやすい場所とするために (第4回推進WGで提案した取り組み案②)

## 「しまんと千客往来」かわの来訪者(観光客やキャンパー)をまちと行き来させる

**第4回推進WGでも好評！  
イベントアンケートでも一番人気！  
このような提案を具体化させる一歩が  
「河川空間のオープン化」です。**



### 千客往来(仮称)のイメージ

- ・キャンプ場へ泊まる人は市内の宿泊施設のお風呂を利用可能にする(有料)
- ・河川敷利用者へのキャンプ用品レンタル(有料)
- ・昼間はデイキャンプを実施し、夜は宿泊施設を利用
- ・河川敷利用者へ飲食店等\*よりお弁当や食材を配達(実費+宅配料) \*ホテルや配達業者等
- ・週替わりで週末にキッチンカーにきてもらう など

# ②わかりやすい取り組みとするために 四万十川かわまちづくりの情報発信について(方針の提案)

## 【現状と課題】

- 現在、情報発信の手段はHPに限られ、3つのHPが存在する。いずれも事務局(=行政)が運用。
- 「四万十川かわまちづくり」が施策の推進段階に入った今、**施策(イベント等)に係る情報発信が重要。**
- しかし、行政がHPを運用していると、**掲載には内部手続きが必要で、迅速な更新が難しいことが多い。**
- 行政サイト特有の表現・掲載基準もあり、推進WGメンバーをはじめ、**各主体の多様なイベント等を柔軟に掲載しづらい。**

**協議会の活動をよりわかりやすく発信するため、誰もが利用しやすく、スピーディーに発信できるSNS等の活用について、検討が必要。**



国土交通省 四国地方整備局  
 中村河川国道事務所

ホーム 事務所案内 河川事業 道路事業 記者発表 入札・契約 各種申請 サイトマップ リンク

### 河川事業について

#### 四万十川かわまちづくり

「かわ」と「まち」が一体となった良好な水辺整備を目指す取り組みである「かわまちづくり」。「かわまちづくり」では、地域の景観、歴史、文化及び観光基礎などの「資源」や「知恵」を活かし、自治体、民間事業者及び地域住民と河川管理者の連携のもと、地域の「顔」、そして「誇り」となるような空間に磨きをかけます。

このたび、四万十川の更なる魅力向上を図り、地域の活性化に繋げていくため、令和4年7月8日に「第1回四万十川かわまちづくり協議会」を開催しました。今後、関係者の皆さまと一体となって「かわまちづくり計画」の策定に向けた検討を進めてまいります。

第1回 四万十川かわまちづくり協議会	
開催日	令和4年7月8日
場 所	四万十市防災センター
配付資料	次第 出席者名簿 資料1 「かわまちづくり」支援制度について 資料2 かわまちづくり計画の事例紹介について 資料3 四万十川かわまちづくり計画について 参考資料 四万十川かわまちづくり協議会設置概要
議事概要	第1回 四万十川かわまちづくり協議会 議事概要

第2回 四万十川かわまちづくり協議会	
開催日	令和5年1月6日
場 所	四万十市防災センター

河川事業の概要  
 共同・入田箇所  
 切畑箇所  
 井沢箇所  
 山崎(本川)箇所  
 相ノ沢川総合水対策事業  
 河堤防事業  
 工事ちゃくちゃく情報館 河川工事  
 四万十川流域生態系ネットワーク  
 四万十川自然再生事業  
**四万十川かわまちづくり**  
 四万十川の河川敷地の民間等活用に資するポテンシャルリスト  
 河川管理  
 河川整備基本方針・整備計画  
 四万十川流域治水協議会  
 河川維持管理計画  
 河川流域を対象としたタイムライン検討会  
 防災・減災へ向け九取組み  
 河川の情報  
 河川の委員会  
 四万十川ニュース  
 地域の取り組み  
 川の学習教材  
 水質データの公表  
 河川QA  
 河川事業の事業概要



四万十市 Shimanto City

本文へ 広報ガイド サイトマップ Foreign language

検索

文サイズ 色調 拡大 背景色の変更 印刷

子育て・教育 健康・医療・福祉 事業者向け情報 市政情報

トップページ > 市政情報 > 市政情報・行政 > 加配方針 > 四万十川の計画 > 四万十川かわまちづくりプロジェクトについて

四万十川かわまちづくりプロジェクトについて

四万十市の計画

更新日: 2024年2月19日更新

四万十川かわまちづくりプロジェクトについて

「かわまちづくり」では、「かわ」とそれにつながる「まち」を活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基礎などの「資源」や地域の知恵に基いた「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地域の住民と河川管理者の連携のもと、地域の「顔」、そして「誇り」となるような空間形成を目指します。

国土交通省のリンク先: <https://www.mlit.go.jp/river/kawyo/main/kawiyousumashizukuri/>  
 <外部リンク>



四万十川かわまちづくり

お問い合わせ

かわまちづくりとは イベント情報 組む事業 活動報告 アクセス

みんなであつくる  
 四万十川かわまち

イベント情報

2024年11月10日(日)  
 令和6年度社会実験「さてみて!四万十2024」開催しました!

四万十川かわまちづくりとは

もっとみる

## 1. 「河川空間のオープン化」に向けた占用主体について

## 2. かわまちづくりを推進するための試行について

- 【例】
- ・水辺で乾杯（既往イベントのバージョンアップ）
  - ・軽食やソフトドリンクのキッチンカー等実施者への呼びかけ、試験運用（アンケート：物販部門 No.1）
  - ・キャンプ時などの宿泊施設のお風呂利用（アンケート：取り組み部門 No.1）

## 3. 情報発信について

- 【例】 X（エックス ※旧 Twitter）、インスタグラム 等

